

かしそく新聞



かつしか心身総合クリニック

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します！

【高齢者のワクチン接種①】

A)季節性インフルエンザワクチン、B)新型コロナウイルスワクチン、C)帯状疱疹ワクチン、D)高齢者肺炎球菌ワクチンについて、それぞれのワクチンに関して説明いたします。

A)季節性インフルエンザワクチン:毎年 10 月から摂取が開始されます。

流行のウイルス株の決定は、①2月頃 WHO が世界中の流行情報を分析し、推奨するワクチン株の候補を発表します。②2～4月、厚生労働省の依頼により、国立感染症研究所で開催される「インフルエンザワクチン株選定のための検討会議」(3～4回開催)で決定。③5月、厚生労働省が最終的な製造株(A 型 2 種と B 型 1 種)を決定し、国内ワクチンメーカーに通知。

●ワクチン製造メーカーと製品名

①第一三共株式会社注射用ワクチン:インフルエンザ HA ワクチン経鼻弱毒性ワクチン「フルミスト点鼻液」

②KM バイオロジクス株式会社(Meiji Seika ファルマなどが販売):インフルエンザ HA ワクチン「KMB」

③一般財団法人阪大微生物病研究会(BIKEN、田辺三菱製薬などが販売):インフルエンザ HA ワクチン「ビケン HA」(当院採用ワクチン)

④デンカ株式会社(アステラス製薬などが販売):インフルエンザ HA ワクチン「生研」

⑤サノフィ株式会社:高容量インフルエンザワクチン「フルゾーン」、「エフルエルダ」

*季節性インフルエンザと新型インフルエンザ(動物[特に鳥]から人への感染)は別物です。

[～次回へ続く～]

(駒形清則医師)

～編集後記～スタッフのつぶやき～

☆今年も熊の被害が相次いでいます。地元青森では、市街中心部(ねぶたが運行する国道沿い)のビル内に長時間居座り、駆除されました。最近では、山菜取りに行った人が遺体で見つかりました。山だけでなく都市部にまで出没するとは、誰が想像できたでしょうか。幼少期の記憶では、そういうニュースは皆無でした。山や熊に何が起きているのかわかりませんが、自然環境が変わってきているのは確かです。熊を知りたいければ、上野動物園で見られます。大きな爪と俊敏さは駆除の難しさを感じさせてくれます。短い夏に、山にも行けないというのはとても残念です。

医療法人財団ファミーユ

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町 1-41-1 桜井ビル 2 階

① ☆外来: 心療内科=永井斐子院長

内科=駒形清則医師

② ☆訪問診療

内科=駒形清則医師、駒形明紀医師 精神科=米谷充医師

神経内科=西岡健弥医師、平井健医師

※詳しくはホームページをご覧くださいか、お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233